第２回　人権研修会

１２月１１日に第２回人権研修会を行いました。
今回は、「生き方を支える・支え合う」というタイトルで、映画『こんな夜更けにバナナかよ　愛しき実話』の主人公となった鹿野靖明さんのボランティアとして活動されていた俵山政人さん（現、上菅田特別学校教諭）からお話を伺いました。筋ジストロフィーという障害を抱え 24 時間体制の介護が必要になっても、病院に入院することなく、自立生活を送っていた鹿野さん。介助ボランティアとは一体何なのだろうか？「介助をする」「される」だけの関係ではなく、「鹿野靖明」という人間と１対１で向き合う中で、自分自身の問題とも向き合うことになっていった鹿ボラ（ボランティアスタッフ）の体験談を、当時の貴重な写真や映像も交えながら紹介していただきました。

「生きること」
「人との関わりをあきらめないこと」
「あなたと過ごした日々は宝物でした」

このようなキーワードが出てきました。人との関わりを通して、私たちはいろいろな世界を知ることができ、考えることができ、人生を豊かにしているということに改めて気づかされた研修でした。

もっと詳しく知りたいという人に

○**『なぜ人と人は支え合うのか「障害」から考える』**
　渡辺一史　定価(税込)：９６８円

○**『こんな夜更けにバナナかよ　筋ジス・鹿野靖明とボランティアたち』**
　渡辺一史　定価(税込)：９６８円